

ひさい地域だより

第 5 号
発行日 2011年10月1日

2011年 秋号



久居まつりを通して地域を元気に

秋を彩る「2011 久居まつり」が10月22日(土)と23日(日)の2日間、久居二ノ町商店街周辺で開催されます。同時開催の「ひさい版2011 仮装大笑」は10月23日(日)に久居市民会館で開催されます。みなさんもまつりに参加して久居を元気にしてください。

問い合わせ 久居まつり実行委員会事務局 (☎255-8846)

久居彩祭&前夜祭



久居彩祭とは、彩りあざやかな祭りと「ひさい」をもじってネーミングしました。今年で5年目です。自分たちが子どもの頃に楽しんだ伝統的な祭りを、現在の子どもたちにも伝えていきたいとの思いから、ボランティアで取り組んでいます。



運営委員会の青木さん

今年の特色は「子どもみこし」の規模拡大です。スタッフ不足の中で頑張ってきた我々と同じ思いを持つ新しい仲間を得て、大変喜んでいます。久居彩祭を継続していく中で、少しずつ新しい芽吹きも感じ始めました。大げさかもしれませんが、若い世代が久居まつりを通して、まちおこし、まちづくりに関わっていただけるような、そんな一助になれば嬉しい限りです。

ひさい版2011仮装大笑



運営委員会の菅内さん

ひさい版仮装大笑は、その昔、久居駅や陸上自衛隊久居駐屯地グラウンド周辺で実施されていた仮装行列の流れを受け継ぐ久居地域の伝統イベントです。「久居」といえば“仮装”というイメージが地域社会や住民に定着しています。見るだけではなく、次回はぜひ出場者として参加していただけると幸いです。

今年は記念すべき第10回大会なので、タレントの勝俣州和さんと小森 純さんのダブルゲストでお届けします。お楽しみに。



昨年度優勝作品 奥田くん(当時6歳)



勝俣 州和さん

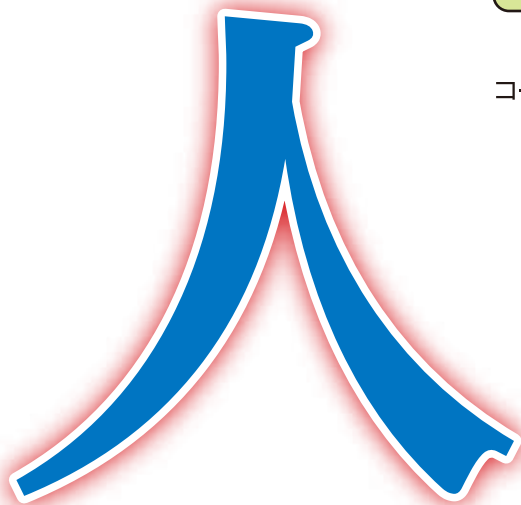


小森 純さん

久居地域で活躍している人たち

久居城下案内人の会

久居地域の活性化のために活躍している「人」にスポットを当てて、紹介するコーナーです。第5回目は、久居城下案内人の会代表者、森下 隆史さんです。



どんな活動を しているの？

平成20年9月に結成し、会員数は現在12人です。旧久居城下町の案内・ガイド活動をしています。また、久居の歴史・文化に関する紙芝居の他、会員の勉強会を行っています。

これからの 活動は？

久居地域には貴重な歴史・文化・史跡が多くあります。今年、初めて桃園地区（木造城址・雲出井等）に挑戦し好評でした。これからも会員の増加と知識・技術の習得に励み、より多くの皆さんに久居探索を楽しんでいただけるよう活動していきたいと思っています。

差し当たって、ガイドができる範囲を戸木地区へも広げていきたいと考えています。

会から

ガイドまたは紙芝居の申し込みは、5人以上で、一週間前までに連絡をお願いします。見学場所・探索コース・時間等の打ち合わせをさせていただきますので、お気軽にどうぞ。

現在、会員募集をしています。皆さんの入会をお待ちしています。

問い合わせ 久居城下案内人の会 森下さん
(☎080-1556-4559)

久居地域再発見



津市指定有形文化財 千手院賢明寺山門

久居元町の千手院賢明寺の山門は市内で数少ない二層作りの楼門形式で建てられています。山門上層の組物は「法隆寺（奈良県）」の様式を模していて、建築形式から今から約320年ほど前の江戸時代初期（貞享～元禄年間）に建築されたものと推測されています。第一層には正面に仁王像を、背後に毘沙門・多聞天像を安置しています。

境内及び周辺には、石造板五輪塔（鎌倉時代：県指定文化財）や銅灯籠（江戸時代：市指定文化財）もあります。一度訪れてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 教委・生涯学習課 (☎229-3251)

インタビューの“わ”

子どもたちに思い出を!



久居こどもみこし世話人会

久居こどもみこし世話人会は、10月23日(日)に開催される久居まつりに合わせて、どの地区の子どもでも自由に参加できる子どもみこしを計画しています。今回は、同会の代表者である庄山 和香さんに子どもみこしに対する思いを聞いてみました。

活動のきっかけは?

かつては多くの地域で子どもみこしが運営されていましたが、年々減少し、現在では数えるほどになってしまいました。歴史ある久居の町に子どもたちの賑やかな祭り囃子を響かせていくためには、地域の子どもたちが自由に参加できる大きな枠組みと支援する体制が必要だと考えたからです。

祭りへの思いは?

私たちが親世代にしてもらったように、今度は私たちが子どもたちに秋祭りの楽しい思い出を贈りたいと考えています。そして、消防団の方をはじめ地域のために活動している大人の姿を子どもたちに見せていきたい。私にとっても子どもを通して地域とつながりが持てるのは今しかありません。それを楽しみたいと思っています。

今年の規模は?

二ノ町、万町、上小戸木の子ども会が同じ日程で行うことにより、祭り当日は200人ぐらいで4基のみこしが担げればと思っています。地域の自治会長さんや商店街の方々にもご支援を頂いています。当日は子どもたちも楽しみにしていますので沿道での声援をお願いします。



問い合わせ 久居こどもみこし世話人会
事務局 庄山さん(☎255-7559)

練り歩きコースの一例(予定)

誠之小学校→久居西鷹跡町地内→久居保育園南
→久居東鷹跡町・久居幸町地内→久居総合支所東
→久居総合福祉会館→本町・二ノ町通り→野辺野神社



ひさい榊原温泉マラソン大会で

地域物産フェスティバル



第14回ひさい榊原温泉マラソン大会が、11月20日(日)に、榊原温泉郷周辺で開催されます。ここ数年、参加者数の減少が続いていることから、これまでの競技等を中心とした大会から、地域グルメ、地域物産展などの情報発信も取り入れた地域振興イベント型大会へと一新を目指しています。また、参加者全員に榊原温泉の入浴券を配布するなど温泉振興にも一役買っています。多くの方のご来場をお待ちしています。

場所 榊原小学校

時間 午前9時から午後1時

問い合わせ ひさい榊原温泉マラソン大会実行委員会事務局
(☎255-6081)

久居地域の 10～12月 主な催し物

この秋、久居地域で開催される主なイベントを紹介します。
ご家族そろってお出掛けください。
(※主催者の都合により変更される場合があります。)



秋の収穫祭&案山子コンテスト



日時:11月26日(土)
8時30分～14時(雨天の場合は一部中止になるイベントがあります。)

場所:榊原自然の森多目的広場

内容:農産物の産直販売や古代米を使った催しなど、今年も盛大に開催します。恒例の案山子コンテストは、11月7日(月)～26日(土)まで、榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」周辺に展示します。作品募集もしています。締め切りは、10月31日(月)です。

問い合わせ 榊原温泉
秋の収穫祭実行委員会 ☎ 252-0220



あじわいウォーク



日時:12月3日(土)
時間は未定
場所:久居地域内市街地
内容:久居地域の商店街の「おもてなし」を中心としたウォークです。申し込み等の詳細については、下記へお問い合わせください。



問い合わせ 久居
商店連盟(津商工会議所久居支所内) ☎ 255-2343

恋の湯治場フォトコンテスト

心温まる恋の湯治場・榊原温泉で素敵な写真を撮影して、フォトコンテストに応募しませんか。11月30日(水)まで。▼賞品:5万円相当のペア宿泊券他▼応募内容:榊原温泉郷内及び青山高原、東青山四季のさとで撮影した写真と説明▼詳細はホームページを参照。または、下記へお問い合わせください。



問い合わせ 榊原温泉振興協会 ☎252-0017

見頃情報 須ヶ瀬町のコスモス

10月上旬頃、須ヶ瀬町にある30アールの休耕田で、コスモスの花が見頃を迎えます。のどかな田園風景と秋風に揺れるピンクや白のコスモスをお楽しみください。



問い合わせ 須ヶ瀬町老人クラブ「新寿会」
代表 笠井さん ☎255-5001

総合支所からのお知らせ

心、ふれあい、市民のつどい

▼日時:10月29日(土)13時30分～15時30分(13時開場)▼場所:久居総合福祉会館3階レクリエーションホール▼内容:久居高校の生徒による市民人権メッセージ、女優・エッセイストの星野知子さんによる講演会、原爆パネル展
小・中学生人権に関するポスター展

▼日時:11月10日～16日▼場所:ポルタひさい3階ふれあいセンター

問い合わせ 久居総合支所生活課 ☎255-8841

編集後記

読書の秋、芸術の秋、スポーツの秋。行楽や運動会等とイベントいっぱいの秋です。久居地域でも様々なイベントがあり、体がいくつあっても足りないという人もみえるのではないのでしょうか。表紙の久居まつりは、以前は行政が中心となり開催されていましたが、ここ数年は市民の方により企画運営するように変わってきました。市民による手作り感いっぱいのイベントは、楽しさも倍増です。地域だよりは久居のまちの元気づくりを応援しています。

ひさい地域だより
年4回発行

編集・発行:津市久居総合支所地域振興課 〒514-1192 津市久居東鷹跡町 246
☎255-8803 Fax256-7666 E-mail:255-8812@city.tsu.lg.jp